

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	10	担当部課名称	教育推進部社会教育課（小和田公民館）
事務事業名	公民館利用者活動支援事業		
見直しのタイトル	公民館周知・PR活動		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

本市の公民館は、5館それぞれが地域の社会教育施設として地域の教育力の向上を図っており、講座や学習会への参加、サークル活動の利用などで年間20万人以上の方々の利用がある。一方で、公民館がどこにあり、どのような目的の施設で、どのような活動や事業を行っている場所なのか、また一度も公民館を訪れたことのない市民もまだ多く、さまざまな情報発信の手法を工夫し、本市の公民館活動のより一層の周知が必要である。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】
情報発信の手法や、他課及び他施設等との連携を図り、公民館の周知・PR活動の強化を行う。

【具体的な内容】

- ・他課及び他施設との連携事業を継続実施
- ・公共機関以外におけるチラシ・ポスター等掲出
- ・他館、他市先進事例調査研究
- ・公共機関以外におけるアウトリーチ活動

3 改善により期待できる効果

- ・今まで公民館を利用したことが無い市民が来館し、互いに学ぶことによって交流、連帯が生まれ、地域づくりの主体を形成する学びの拠点となる。
- ・市民との信頼関係が生まれるとともに、地域づくりや生活課題・地域課題の解決につながる。
- ・公民館の利用が増えることにより、地域を取り巻く生活や社会環境などの大きな変化により、失われつつある地域社会を支えていた人間関係を、公民館の持つ機能である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を発揮することによって改めて見直し、再構築することができる。
- ・大型商業施設の発行する広告等に無料で公民館の内容が掲載されることで、さらなる公民館のPRに繋がる。

4 実施スケジュール（概要）

4月	市民まつりに公民館ブースを出展し、周知・PR活動
6月	市民便利帳2018年度版に新たに公民館ページ設ける。
6月～8月	他館、他市先進事例調査
8月	しろやまフェスタ（浜見平）へ参加し、周知・PR活動
11月	イオン茅ヶ崎中央店にて、周知・PR活動
11月	レインボーフェスティバルへ参加し、周知・PR活動
適宜	他課及び他施設との連携事業の実施、公共施設以外へのチラシ・ポスター配架、フェイスブックの活用

5 実施結果の振り返り

広報紙やホームページ等の既存広報媒体に加え、メール配信、地元情報誌等への情報提供、地元自治会や小・中学校等への講座情報の配布等行うことで、公民館事業のPRに努めた。また、市民まつりへ公民館ブースの出店や民間の大型商業施設等と連携した「公民館フェスタ」等を開催し、幅広い世代に公民館事業へ参加する楽しさを気軽に体験してもらう機会を創出した。

このように5館が連携し、様々な機会を捉えて、日頃の公民館活動をPRを行っているが、公民館の存在を知らない、利用したことがない市民も多くいることも事実である。

そのため、引き続き公民館のPR活動を職員一丸となって実施するとともに、公民館を利用したことのない勤労者等が公民館事業に参加しやすい環境づくり等について検討していきたい。